附錄第二

# 訓示第三號

## 独立混成第十七旅團將校ニ與ヘル訓示

1950

中ノ33.

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

訓示第一號ヲ以テ予ノ旅團統率ノ根本方針ヲ示セリ是實ニ眞ニ予ノ腹中期スル所ノ聲ナリ然リ而シテ予如何ニ八面六臂ノ働ヲ爲ストモ容易ノ業ニ非ス是非共全將校諸君カ予ノ分身トナリ徹底的ニ予ノ方針具現ニ邁進センコトヲ要望スヲ爲編成完結ノ第一歩ニ當リ稍細部ニ亘リ訓示第一號實現ノ爲將校各位カ如何ナル覺悟ト服務精神ヲ以テ進ムヘキヤ左ニ列擧訓示セントス

一、統帥權ヲ尊重身ヲ以テ確保スヘシ

將校カ國軍ノ楨幹トシテ重ニセラルヽ根本ハ



中〜36

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

大元帥陛下ヨリ統帥權ノ御委任ヲ受ケ之ヲ奉行スルニアリ諸君ハ宜シク其ノ責任ノ重大ヲ痛感セサルヘカラス皇軍ノ最高標準ニ達セントスル旅團ノ將校ハ須ラク尊貴ナル統帥權ヲ身命ヲ以テ確保セサルヘカラスノ惟フニ吾等ノ日常ノ仕事ハ一般ノ官吏ヤ特ニ普通民衆ノ行動ト異ルハ茲ニアリ唯漫然ト其日々々ノ仕事ヲ爲スニテハ駄目ナリ統帥權奉行ノ責任感ヘト衿持ヲ自覺シ與ヘ投足將校ノ行動ハ　上御一人ノ御威光ニ關スルモノタルコトヲ銘心鞠躬生命懸ケテ萬事ニ處セサ



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ルヘカラス部下ノ不正ヲ見テ斷然彈壓威力を指揮嚴明ヲ欠キ秋霜烈日ノ氣ノ少ニシテモイヌレカラシカ豈取早將校タルノ價値ナキモノトス況ンヤ吾人ノ警備姿勢ハ分散配置ニシテ四周皆敵性包マル覺悟セサルヘカラス下士官以下統率ノ中心タル將校ハ眞ニ部下ノ大黒柱ト仰カル徳望威力見識ヲ備キ且ツ之ヲ備ヘサルヘカラス而シテ統帥權ノ行使ハ命令ヲ以テ表ル諸官ハ上司ノ命令ハ絶體服從スルト共ニ自己ノ下ス命令ハ御本人ノ統帥權ニ基クモノタルヲ銘肝シ事ノ利ニ豆取善ノ考ト感心拝ヒ其下令スルヤ嚴明ノ能ハ度ト表現ヲ以テシ



ゆ35.

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

旨ヲ絶體服從セシムル如ク監督旨ヲ必要トス

二、勅諭ヲ暗誦シ奉リ戰鬪訓練諸勤務内務

總テ御聖旨ニ副ヒ奉キルコトヲ期スヘシ

此ノコトニ就テハ訓示第一號ヲ以テ示セル所ナルカ謹ミテ按スルニ　明治大帝ニ於カセラレテハ國運ノ消長ハ軍隊ノ精鋭如何ニアリトノ大御心ヨリ諄々親愛兒ニ教フルカ如ク諭シ給フ曰清日露ノ大戰固ヨリ近ク滿州事變本事變ハ戰ハスシテ勝タサルナキ皇軍ノ働キハ正ニ　明治大帝ノ授ケ給ヘル軍人精神ヲ次テ奮鬪セルカ爲ナリ戰時ハ論スル迄



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

モナク平時ノ場合ヲモ考フルニ彼ノ第一回歐州大戰後一般國民ハ隋弱奢侈ニ流レ氣力沈衰甚シキハ赤化思想横溢拜外崇歐ノ精神ハ殆ト上下ヲ舉テテ風靡シ眞ニ憂フヘキ狀態ナリシニ拘ラス狂瀾ヲ既倒ニ回シテ滿州事變本事變トナリテ皇軍績イテ皇國カ全世界ノ驚異ノ働キヲナスニ至リシ根本ハ軍人精神ヲ以テ鍛ヘ唯皇室ト國家アリテ他アルヲ知ラサル我カ軍隊ニ軍人精神アリ此ノ修道場ヲ經タルモノハ在鄉軍人トナリテ日本ノ津々浦々ニ良民トシテ存在セシ賜物ナリトマアハ斷言シテ憚ラサルモノナリ

中～36.



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

上陛下ノ為ニ生命ヲ擲ツハ吾人軍人ノ天職ナリ戰場ニ立テル諸子特ニ將校諸君ハ年齢未ダ小壯ナリ宜シク

勅諭ヲ暗記シ奉リ誤讀ハ恐懼ノ至ナリ宜シク正確ナル讀方ヲ要ス部下ニ範ヲ垂レ

御勅諭第一主義ニテ邁進スベシ

三、將校タルノ品性ヲ陶冶シ武士的清廉ノ衿持ヲ飽クマデ保ツヲ要ス

將校ハ皇軍ノ楨幹ノ重責ヲ担フト共ニ特ニ身分上ニ於テ國家ヨリ特別ノ待遇ヲ受ク將校タルモノ



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ハ宜シク身ヲ持スル謹厳敬特ニ品性上ニ於テ高
尚古武士ノ廉潔性ヲ尚ハサルヘカラス唯下士官
兵ノ上ニ立ツモノナリト戎薄ナル考ヘヲ許サス一切怠惰
虚偽怯懦不忠不信金銭上ノ問題等人間
トシテ恥スヘキコトハ絶対許ササルノミナラス之等ノ為ハ常人
ニ比シ将校トシテハ断然一頭地ヲ抜キテ優カル所ナカル
ヘカラス下士官兵ハ各官ニ対シ上官トシテ服従スルハ勿論
ナリト雖徳望人格識見備ハルコトニヨリ初メテ心服
スヘク如何ナル危険悲惨困苦ノ極所ニ於テモ
遅疑スルコトナク命令ヲ遵奉スルニ至ルヘシ之ニ反センカ

中ヘ37.



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

動モスレハ下剋上ノ悪風ヲ生シ面従腹背盲従
シテ絶対ニ許スヘカラサル軍紀ノ根底ニ死ミヲ生スルニ
至ラン将校ノ覚悟ト責任ノ重大ナル考フル程深
刻ナリ切ニ之ニ銘セヨ

四、兵器令ヲ初メ苟クモ自己ノ職責上必要ナル諸條規
諸訓示等ヲ研究熟読豊富ナル識見ヲ養フヲ
要ス

諸官ノ警備勤務ハ多忙ナリ又機ヲ失ス討伐戰
闘ヲ計畫シ遂行セサルヘカラス多忙ト激動ニ疲レ任務



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

トシテ寸暇ヲ空費セハ現在ノ頭脳ト手腕トヲ鈍ラス
ニナリ吾人ノ戰闘報務確乎タル基礎ニヨリ確信
ヲ以テ遂行セサルヘカラス習慣的ノ仕事ノ仕振リニテハ
將校ノ恥辱ナリ疲勞ト眠氣ニ屈セス發刺タル研
究心自己ノ職責ヲ日ヲ逐フテ一件タリトモ積極
的ニ若干タリトモ改善スルノ意氣ト責任感アルヲ
要ス仍論時アリテハ娯樂的ノ書物ヲ見ルモ亦可ナリ
ト雖努メテ自己ノ職責遂行上ノ識見ヲ豊富ナ
ラシムル如ク典範令ニ親シミ疑問難解ノ点ハ須
ラクノ上ニ通スルヲ上官ニ訊ヲ乞フヘシ特ニ討伐戰闘ニ
實戰及教訓ハ深厚ナル趣味ヲ持チ自己ノ

1959

中ヘ38.

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

撃スベキ敵ニ対シ当面スル部下ヲ最大限ノ効果アル如ク巧妙機敏ニ小討伐ト雖モ凡テ他部隊ニ範ヲ示スベク概ヲ以テ研究シ準備スルコト必要ナリ

五、自己擔任地ノ情勢ニ通暁シ討伐宣撫ノ資トナスベシ

当警備地域ニ於ケル討伐回数ハ最近一ケ年間ニ大小約一千回ヲ算シ其ノ成果ニ於テ他ニ誇リ得ルノ情勢ニアリ而シテ討伐成果ヲ検討スルニ兵力ヲ大ナラシメレハ免角企図ヲ暴露スルニ至ル虞アルヲ以テ普通小兵力ニテ地理ニ明ルク諜報



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

兵集巧妙周到ニシテ敵ノ居所ヲ知ルヤ勇敢機敏直ニ起チテ撃滅スル式ノ小隊長級位ノ働カ最モ兵力ニ比シテハ大ナル効果ヲ収メテアリ諸官ハ此ノ点ヲ克ク飲ミ込ムコトハ必要ナリ

六、軍紀風紀ハ多ク将校自ヲ以テ振作維持スベシ

軍紀風紀振作シアル軍隊ハ戰ヒニ強ク又ニ反スルモノハ弱キハ各官ノ熟知スル所ナリ抑ミ軍紀トハ如何ナルモノナルヤヲ疑フニ恰モ桶ノ竹箍ノ如キモノナリ桶ノ板片ハ各將兵ナリ竹箍ニハ鐵製アリ竹製アリ又締メ方ニ弛キト緊ト張セルトアリ旅團ハ正ニ苦レクトモ鐵

中～39.

1961

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

製衣ノ為捕ニテ強度ニ締メタル桶ナラサルヘカラス將校ハ鋼鉄ノ為捕並ニ締メル役ヲ擔當セサルヘカラス如此ニシテ水ヲ洩サヌ耐久的桶ノ用ヲナスヘシ又風紀上ノコトヲ論センニ當上海警備地域ハ作戰地ノ最後方地帶ニシテ市街ニ近ツクニ從ヒ各種ノ誘惑アリ此ノ点諸君カ今日迄〇〇方面ニ於テ塹壕ヲ掘リテ至近距離ニ優勢ナル敵ト堅牢ノ對峙ヲ爲セル狀況ト外見正反對ノ姿勢ニアリ然リ而シテ外見上ハ如此反對ナルカ如キモ誘惑ハ



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

對象多ク而モ敵ニ裸體ノ如ク包圍セラレ第三國軍及外人ニ與シ投足ヲ監視シ一挙一動ノ與ヘ指ト雖モ忽チ皇軍威信ニ關シ又警備勤務上甘隙アラハ皆ニ自衛上ノ危險ヲ醸スノミナラス行動如何ニヨリテハ世界的動亂ノ現情勢ニ於テ帝國ノ國際的利益ヲ阻害スル惧ナシトセス各位ハ當警備地ニ於テハ如何ニ勇氣ニ加フルニ智能ヲ要スルカヲ深刻ニ銘心スルト共ニ軍紀風紀ノ刷新即チ其根源タル服從敬禮ノ嚴格整正ノ二條件ヲ夢寐ニモ忘レス部下ヲ監督指導スルヲ要ス彼ノ

中ハ40



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

上官暴行掠奪強姦賭博ノ如キハ軍紀風紀殺ノ皇大代表的ノ罪悪ナリ當地ノ客觀的情勢ト皇軍ノ威信ノ為少クモ此ノ皇大犯ハ絶對ニ生セサラシムル如ク將校タルモノハ事前ノ準備ニ手ヲ盡シ念ニ説クモ及ハサレバ身ヲ賭シテ旅團ノ名譽ノ為防衛センヲ望ム

七、上下精神的融和ニ就テ

吾人ハ不思議ノ縁故ヲ以テマアヲ頭首トシ旅團ヲ編成シ戰場ニ勤務ス死生榮辱共相倶ニセン



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

予ノ眞情ヲ以テセバ稍ニ永久佳本結ン訓示モシ懇
談モシ色々氣心ヲ知リタキハ胸一杯ナリ然ルニ毎夏
情ハ直ニ分散配置ノ已ムナキニ至ル縱令遠クニ分
散シアリトモマ予ノ心ハ全旅團ノ將兵ノ身ノ上ニアラサルコト
ナシ又出來ル限リ視察接觸ニ勉ムベシ又諸君ハ
自己ノ私心ナキ眞取善ト信スル意見ハ腹藏怖
ルヽ所ナク上司ニ呈スベシ若シ之ヲ不可トセバ快ク
之ニ服シ其ノ上司ノ意圖ニ直ニ轉換シテ快ク
進ムヲ要スヽ之ハ隔地服務ニ於テ最モ心スベキ
コトニシテ旅團司令部 本部モ常ニ第一線ニ想

中〜仙.



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

旨ヲ致シ親心ヲ以テ對スヘシ

八、教育訓練ノ徹底ニ就テ

將校ハ教官ニシテ指揮官タリ寡少守備兵ヲ以テ周邊多數ノ歸順非歸順ノ支那軍ヲ睨視シ機ヲ見ルヤ果敢ナル討伐ヲ實行スルニハ是非共不斷ニ訓練セサルヘカラス 諸君能ク知ル如ク射擊技能モ猛練ヲ中止スレハマヲ想以上ニ命中セサルモノナリ發射彈ニ比シ敵ニ與フルノ損害少ナキモノハ不精鋭軍隊タルノミナラス戰心ヲ慣レシル支那軍十二匪ノ

1966

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

輕蔑ヲ招クモノトス而シテ各隊ハ討伐勤務頻繁ニシテ余程部署ニ注意セサレハ二交代勤務トナリ兵ハ眠氣ト惰氣ノ爲休ムヒマナシ訓練シ得サル事ハ諸官ハ漸次落付クニ從ヒ一定ノ計畫ヲ立ツルヲ要シ譬ヘ一兵一時間ト雖教育訓練ヲ行フノ氣力ト奉公心ニ燃ユルヲ要ス如此帝ニ各兵ノ戰力向上ノ爲絶對必要ナルヲミナラズ兵ノ倦怠ヲ防遏シ軍紀風紀振作ノ最良ノ手段ナリトス凡ソ教育訓練ニ熱ト趣味ヲ持タサルハ將校特ニ部隊長トシテ價値ナキモノトス

中ハ42



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

九、兵員ノ保育鍛錬ニ周密ノ着意ト努力ヲ要ス

之ハ訓示第一號ヲ以テ方針トシテ示セル所ナルカ往々ニシテ補充兵ナル故トカ近時兵ノ體格カ低下セリトカノ聲ヲ聞ク吾人ハ根本的ニハ如何ナル部下如何ナル兵ヲ配當サルヘトモ　陛下ノ軍人トシテ有難ク頂戴シ之ヲ強クシ弱クスルモ凡テ幹部ノ責任ナリ小サキモノハ大キク痩セタルモノハ太ラスル意氣ト愛情トヲ要ス今ヤ帝國ノ作戰並現下世界的波瀾ノ大勢ヲ見ルニ人的資源ハ何物

1968

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三、換難キ尊貴ノモノナリ一兵一銃ノ減耗ハ是
國家國軍ノ爲大損害ナルコトヲ深ク訓練内
務間ヨク部下ノ體質ヲ知リ衛生給養常ニ
周密ノ考慮ヲ拂ヒ立派ナル精神ニ加フルニ立
派ナル肉體ノ持主タラシム
以上列記ノ順序ハ必スシモ重要性ノ順序ニアラ
ス將來全將校ト場ニ直接スルハ不可能ナルヲ
以テ本日ノ好機會ニ於テ老婆心トシテ懇々
説示スルモノナリ希ハクハ諸君ヨ祖國ノ安危カ

1969

ゆへ43.

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三名人將校雙肩懸リテ決スヘキコトヲ銘ハシ
奮鬪努力ヲ望ミテ已マサルナリ

昭和五年十二月十五日　長谷川少將

1970

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp